「ふるさと納税制度の未来構想は」
「本年度から再出発」

杉尾浩一（すぎおこういち）議員

問 ポストコロナ・アフターコロナの次の一手は何か。プレミアム付き商品券発行事業、キャッシュレスポイント還元事業を実施する。

町長 信号機無し横断歩道で歩行者優先の状況に変化は。

問 令和2年は31・3％。8ポイント昨年より増加。高鍋署管内検挙数99件。未だ7割は止まらない。一時停止の正しい方法は。

総務課長 停止線の直前で止まる。違反反則金7千円、違反点数2点。

問 交通指導や講習の強化は。

総務課長 交通指導員の交通安全指導、青パトでの早朝広報の実施。警察に安全運転啓発や信号機無し横断歩道での取締り実施を随時依頼している。

問 ふるさと納税制度、過去3か年の決算と実施事業は。

財政経営課長 令和元年約16億円。平成30年約22億円。29年約25億円。令和2年見込額約12億3553万3千円。子ども医療費無償化、東西小中学校での教育環境向上、予防接種・がん検診等健康増進、防犯灯・防災備品購入で安心安全の向上。

問 令和3年度の寄附予算額は。

財政経営課長 10億円を計上。

問 新聞報道では、県内他市町村の増加、本町の減少だが。

財政経営課長 返礼品基準の見直しで、79品目の登録取消の影響も大きい。ふるさとづくり基金への積立は、平成30年度寄付額21億円で3億2千万円。令和2年度12億円で5億9千万円の決算見込額の積立。

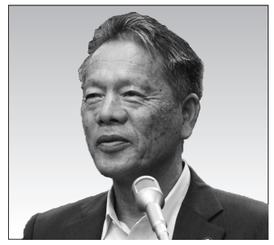
問 他市町村の優れた制度とは。

財政経営課長 ワンストップ作業と返礼品取扱業務の一体化や特化した部署の設置で効率化。

問 今後の取組は。

財政経営課長 今年度をふるさと納税制度の再出発点として努力する。

「ワクチン接種の現状は」
「接種は5月末日で1681名」



春成勇（はるなりいさむ）議員

問 高鍋町での5月末日までの1回目と2回目の接種者数は。

健康保険課長 5月末日で、1回目が1681名、2回目が1912名である。

問 感染力の強い変異株が日本国内において感染が広がっている。宮崎県内では489人だが高鍋町内に変異株の感染者はいるのか。また、感染者対策は。

健康保険課長 変異株については、高鍋町の感染状況は周知していない。また、変異株であってもこれまでと同様の感染症対策を継続して行っていきたい。

問 感染者への誹謗中傷は前と比べると少し穏やかになっていると思われるが。

健康保険課長 町民の感染者に対する認識が誰でも感染し得るという認識に変わってきていると思う。

意見 感染を抑えるため、高鍋町での素早いワクチン接種を考え対応していただきたい。

問 災害に対する対応で、昨年の避難を踏まえて今後の避難所の感染対策は。

総務課長 体温チェック、マスク着用、手指消毒の徹底、避難世帯ごとの距離を2メートル取ることや、外の風の状況を注意しながら窓を開放したり、大型の扇風機を使用する対応をしていきたい。

問 戸別受信機の配置状況は。

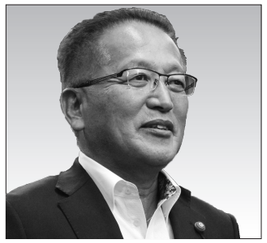
総務課長 現在、871世帯中、120台。13％の世帯が使用している。

問 県道木城高鍋線川田地区の道路改良工事が中断しているようだが。

建設管理課長 土木事務所と協議を行い、事業着手をお願いする予定である。

問 家床地区の伊薗・桧谷線の道路管理については、車両が側溝にはまるので、蓋を設置してはどうか。

「町長の政治姿勢について」
「防災減災を図ることにより、地域経済の維持、活性化につなげる」



後藤正弘（ごとうまさひろ）議員

問 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、これからの地域経済の維持及び活性化をどの様に図っていくのか伺う。

町長 コロナ渦にあっても、就労や社会経済活動を継続するため、各医療機関と連携し、医療体制の充実を図る。安全で安定した保育サービスの提供に努め、福祉・介護・医療・教育など、あらゆるサービスを包括的に活用し、支援の仕組みづくりの検討も重要と考えている。近年の大規模化する豪雨災害や南海トラフ巨大地震の発生に備え、避難所における新型コロナウイルス感染拡大防止対策に努め、防災、減災を図ることにより、地域経済の維持・活性化につなげたいと考えている。

問 第1次産業や観光産業、飲食業、交通事業等は、回復に向けての動きが鈍くなることを懸念している事に関して伺う。

町長 観光産業、飲食業、交通事業につきましては、大幅に業績が低下している上、回復にも相当の時間を要することが予想される。

意見 色々な手当等、今後とも応援をよろしくお願いします。

◆高鍋町消防団について

問 操法大会が、2年連続中止となり、消防団活動の士気及び指揮系統に影響はないか伺う。

総務課長 操法大会中止に代わり、消火技術の向上及び指揮系統の強化を目的とした消防ポンプ等の取扱講習、模擬火災訓練の実施を予定。今後は、消防団幹部と連携し団員の士気が低下しないよう努めてまいりたいと考える。

問 舞鶴公園整備計画の今後の取組について伺う。

建設管理課長 現在、舞鶴公園改修設計等業務委託を発注している。公園施設長寿命化対策支援事業を活用し、今後、舞鶴公園の維持修繕工事を行っていく予定。

意見 優先的に、舞鶴公園の排水計画を立てていただきたい。

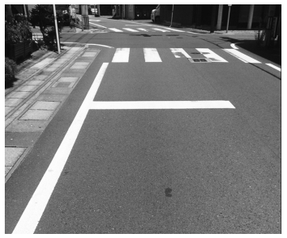
大雨水害に対応する消防団

問 この制度をもっと利活用すべき。

町長 ふるさと納税制度の再出発として、返礼品提供者、取扱業務委託受託者と協力し、他自治体も参考にし積極的活用を図っていく。

問 この制度の構想、将来性はあるか。

町長 国のルールを遵守し、財源の確保には寄付額の増加に加え、経費の削減が重要であり、一連の業務を注視し必要な改善を進めていくこと。本町の優位を伸ばし、足りないものを補い、新たに生み出していく。将来性は取組を着実に進めることで充実していくと考える。



停止線で止まろう！

建設管理課長 路肩が崩れている所や側溝の蓋が必要なところは対応していきたい。

問 脇地区の排水路から県道に長い間水が流れているがその対応は。

建設管理課長 調査をして対応してまいりたい。

問 下屋敷地区のマツダオート南側の側溝に蓋を取り付けると車の離合が出来ると思われるがその対応は。

建設管理課長 水利組合と協議をして対応していきたい。

家床地区伊薗・桧谷線道路崩壊状況

問 大池久保地区排水について伺う。

建設管理課長 昨年8月に側溝改修等の要望が三点ほど上がってきているので、実行していく。